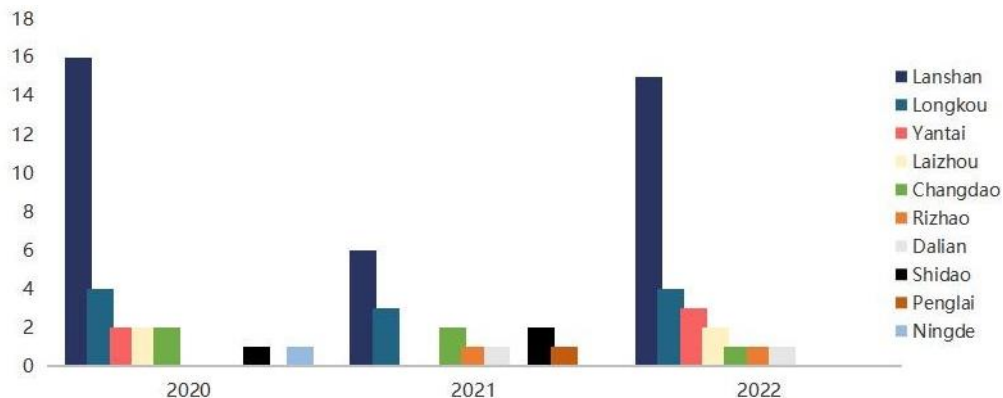


中国沿岸の主要養魚場の分布状況について（一部抜粋）

養魚場関連の事故件数とその分布（2020～2022年）

下のグラフは、過去3年間（2020～2022年）にHuataiが扱った事案のうち、養魚場への船舶の進入に関わる事故の件数と分布を示したものです。



Dalian と Ningde 以外の港は全て山東省（Shandong）の管轄下にあります。Lanshan 港における事故が最も多く、2021年には6件に減少したものの、2022年で再度15件まで増加しています。

Lanshan 港の養魚場における事故発生件数が多い理由

以下のような要因があると考えられます。

- (1) 他の港と比較してより養魚場の数が多く、分布も広い。
- (2) 養魚場が Rizhao 港、Lanshan 港、Lianyungang 港の交差するエリアにある。商船や漁船の航行環境が複雑であり、他船との衝突や養魚場への進入を避けるための航行可能水域が非常に制限されたものとなっている。
- (3) Huatai Circular や現地代理店により養魚場の分布情報などが案内されているが、それらが海図へ記入されておらず、適切な航海計画が立てられていない。
- (4) これらの水域における多数の養魚場や漁船の存在について、船員の警戒心が不足している。その結果、緊急事態において素早く適切な対応をとることができず、事故発生につながってしまう。
- (5) 夜間や視界の悪い状況で出入港を行い、誤って養魚場に進入してしまう。

事故防止のために

- (1) 養魚場の実際の場所は常に変化しているため、本 Circular 記載の緯度・経度は参考としてご覧ください。
- (2) MSA が推奨する航路がある場合は、そのような推奨航路を注意を払って航行してください。
- (3) 養魚場付近の海域を航行する際は、あらゆる手段を用いて見張りを適切に行い、海上交通センターや水先人と密に連絡を取ってください。さらに、周辺的环境や該当水域が安全であること

- を確認した上で、海上交通センターや水先人の提案に従って航行してください。
- (4) 上記に関わらず、海上交通センターや水先人の情報が必ずしも適当ではない可能性もあります。船長は、提案に従って航行するかどうか責任をもって判断してください。
 - (5) 代理店や本 **Circular** の情報を基に、(電子) 海図に養魚場の位置を記入し、誤って養魚場に入入する事態を防ぐため適切な航海計画を立案してください。
 - (6) スケジュールやその他の状況を考慮した上で、上記の港への夜間または視界不良時の出入港は可能な限り避けてください。
 - (7) 上記の港に出入港する際は、事前に機関と錨の準備を行い、安全な速力を保ち、船橋の人員を増やすなどして船橋と船首甲板の見張りを強化してください。
 - (8) 事故が発生してしまった場合は、できるだけ早く海上交通センター、現地代理店、船舶管理会社に報告してください。

ご不明な点がございましたら、Huatai Beijing (pni.bj@huatai-serv.com)までお気軽にお問い合わせください。

以上